



足立区議会だより

発行/足立区議会 ☎(3880)5996(直通)
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp> No.220

第1回 定例会

R100
古紙配合率100%
再生紙を使用しています



旧和井田家住宅(都市農業公園)

平成19年第1回定例会 会議のあらまし

平成19年第1回定例会は、2月20日から3月15日までの会期24日間で開会しました。

今定例会では、区長から提出された平成19年度一般会計予算案など、議案57件、諮問1件、報告3件、議員提出議案8件及び区民のみなさんから提出された請願・陳情について審議しました。

結果については、本文記載のとおりです。

平成19年度各会計 予算原案を可決

区長提出議案のうち平成19年度「一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、老人保健医療特別会計」の4会計の予算案は、全て原案のとおり可決しました。

平成18年度補正 予算原案を可決

平成18年度「一般会計補正予算(第3号)、国民健康保険特別会計補正予算(第2号)、介護保険特別会計補正予算(第2号)、老人保健医療特別会計補正予算(第2号)」の4会計の補正予算案は、全て原案のとおり可決しました。

その他の区長提出議案 を可決

その他の区長提出議案49件は、全て原案のとおり可決しました。
(全議案は5頁に掲載)

人権擁護委員候補者の 推薦を決定

人権擁護委員の任期満了に伴

候補者の推薦について、区長から議会の意見を求められました。議会はこれに対し異議のないものと答申しました。
(推薦のあった人権擁護委員候補者氏名は6頁に掲載)

議員提出議案4件を 可決

議員提出議案8件のうち、
・足立区議会会議規則の一部を改正する規則
・足立区議会委員会条例の一部を改正する条例
・足立区政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
・地方自治法第180条第1項に基づく区長の専決処分事項の指定について
の4件については、全会一致により可決しました。
また、他4件については、継続審査としました。

請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願・陳情は、撤回2件で、他40件については、継続して審査することとしました。
(請願・陳情は6頁に記載)

「議員(候補者等を含む。)からの寄付は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をも以って禁止されています。」
たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄付・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。また、個人に対しても、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等)をすることも禁じられています。
なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚式のお祝い・香典があります。
区民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

主な内容

区政を問う(各会派代表質問)	2頁
議決結果・報告	5頁
意見の分かれた案件	6頁
みなさんからの請願・陳情	6頁
予算特別委員会の討論(要旨)	7頁
平成19年度各会計予算グラフ	8頁
平成19年度各会計予算特別委員会審査	8頁
特別委員会報告(要旨)	8頁
足立区議会情報公開制度の実施状況	8頁

旧和井田家住宅

区の有形民俗文化財に指定された江戸後期の木造建築で、一月上旬から「かやぶき屋根」のふき替え工事が行われました。

代表質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する4名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。

以下、その一部を掲載します。

代表質問を平成19年2月20日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

問

足立区議会自由民主党

人口減少・少子高齢社会に

対応した予算を！



自由民主党
加藤 和明 議員

2期8年間の取り組みについて区長に所感を伺う

【問】区長は、「民にできることは民に」「地方のことは地方で」の精神で邁進され、2期目には、「区政のすべての関係者が協働して足立区を建設していく道筋」を提示された。そこで、2期8年間の取り組みについて所感を伺う。

また、現在やり残したと思われること、次世代の区政に期待すること等について伺う。

【区長】オウム真理教との闘い、北千住駅西口の再開発の完成、「つくばエクスプレス」の開業等、様々なことを達成できた。しかし、区長になった最大の目的は、財政の建て直しであった。財政は区民サービスの源泉だからである。したがって、区債残高を大幅に減らし、基金を



積み増ししてきたことが大きな成果であった。

また、昨年の前半は、区には余り愉快ではない報道が相次いだ。後半には、行政の革新度調査で全国で17位になる等、基本計画に基づく取り組みの成果が正当に評価された。

解決すべき課題も、ほぼその方向性を見出したのではないかと伺う。

とりわけ、区施行を決定した竹ノ塚駅付近の鉄道立体化は、事業費の負担割合等の課題を解決し、一日も早く区民の願いを実現する必要がある。

【問】平成19年度予算の特徴は何か

【区長】平成19年度予算は、区長の2期8年間の総まとめと考えるが、どのような点を重視して編成されたのか伺う。

【政策経営】「子どもの未来とまちの活力を育む予算」として、認証保育所等利用者助成事業や、私立幼稚園入園料補助金等を、積極的に予算化した。

また、竹ノ塚駅の鉄道立体化事業等、行財政運営方針の10の重点項目に、前年度を上回る予算を配分した。

平成19年度予算の財源確保はどのようになっていくのか

【問】住民税率の10%比例税率化や定率減税廃止等の税制改正で、特別区民税の増収が見込まれるが、内訳はどうか。

また、今後、徴収の困難度が増すと思われるが、事前の広報や、今後の徴収体制等を伺う。

【区民】影響額は、住民税率の10%比例税率化により約45億円、定率減税の廃止により約15億円、65歳以上の非課税措置の廃止に伴う経過措置の縮小により約5千万円を見込んでいる。

また、税制改正の内容は、11月17日に「税制改正特集号」を発行したり、町会等での勉強会や、あだちシティビジョン等により、周知に努めている。

納税課の徴収体制も、現年度の徴収を中心とした体制に改め、公金徴収嘱託員等の活用や、差押えなどの滞納処分を強化して、公平性の担保と税収の確保に努めていく。

【問】都区財政調整交付金の都区間の配分割合は、区55%対都45%で決着がついた。増加した3%の内訳は、三位一体改革分2%、都補助の一般財源振替分が1%となっている。このことを、どう評価しているのか。

また、今後の変動要素等について伺う。

【政策経営】都区間の財源問題に一定の区切りをつけ、新たな区と都の関係構築を築いていく出発点として、大きな意義を有する。なお、1%の振替分の具体的な影響等は、平成20年度財調協議の中で検証していく。

【問】平成19年度の予算編成方針によれば、まちづくりプロジェクト以上に、施設更新の方針が巨額の財源を要するが、財源をどう確保するのか。

また、②人口減少社会への移行との関連で、施設の集約と再編をどう進めていくのか。

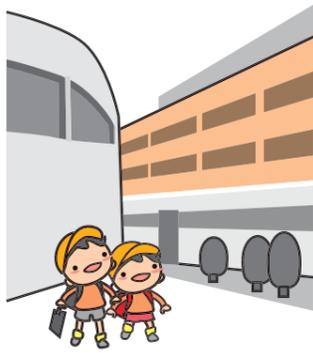
【政策経営】①現在、基金残高の回復と区債発行残高の適正化を図っている。とりわけ、特別区債は、毎年100億円の資金調達を予定しているが、区総体としての債務管理を行いつつ、資産売却収入は、債務償還に充当する等のストック管理を徹底する。

また、基金の積み増しは、区債残高とのバランスに配慮し、最大限の努力を行っている。

【資産管理】②人口減少と少子高齢化の急速な進行は、生活環境や公共施設の利用動向等に大きな変化をもたらす。施設の総量を順次縮減するとともに、年齢構造の変化に対応した施設の利用用途転換を進めていく。

【二次環境基本計画のねらいと実現策を伺う】

【問】二次環境基本計画の策定が来年度に予定されているが、



目標を定め、区民と区が協働でCO₂(二酸化炭素)の削減を図らなければならぬ。計画のねらいと、実現への方策を伺う。

【環境】計画の策定では、CO₂の削減量、ごみ削減等について具体的な数値目標を示し、区民や団体、事業者、学校、区が、協働して取り組める内容にしたい。

また、平成19年度からは、インターネットを使った環境家計簿プログラムを普及させ、区民のCO₂削減の促進を図る。

【サマーリサイクル事業のアンケート結果はどうだったのか】

【問】廃プラスチックのサーマルリサイクル事業を、神明・六木地区と舎人地区で実施している。その地区でアンケート調査を実施した結果はどうだったのか。

【環境】昨年10月末にモデル地区の1千名の方にお願ひし、444名の方から回答を得た。その結果、ごみ分別と収集日の変更の周知度は高く、チラシの全戸配布や町会・自治会の回覧板が有効となっている。

また、可燃ごみ週3回、不燃ごみ隔週収集の試行地区の反応は、総体的に好意的である。

【廃プラスチックのサーマルリサイクルでごみは増えないのか】

【問】平成20年度の本格実施に向け、ごみの減量と資源化が課題となる。サーマルリサイクルでごみが増えることはないのか。

【環境】アンケートでは、資源として「今までより出す」が33%、「以前と変わらない」が57%であった。ごみが増えないように、ペットボトルの回収率の向上や、4月からスプレー缶も資

源として集積所回収を開始する等、新たな取り組みを拡大したい。

さらに、区民による集団回収への支援を強化していきたい。

【河川浄化をどう進めていくのか】

【問】堀川では、ジャブジャブ大作戦が行われ大変盛り上がりしたが、平成18年度には、ごみがあまり悪臭さえ戻ってしまった。区はどう考えているのか。

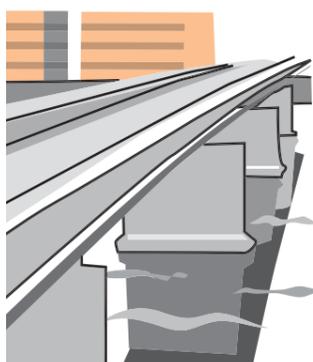
【環境】ジャブジャブ大作戦は、区民やNPOの力が自然再生のために重要な役割を示した。河川浄化のハード対策では、水質浄化施設の整備等を進めてきた。今年度、埼玉県が堀川の流下能力を上げる護岸改修工事を進めており、区は、川面に近づける施設を整備した。

また、ソフト対策では、魚類調査等で河川の状態を区民に知ってもらい、区民や学校等と協働で自然再生に取り組んでいく。

【綾瀬川架橋の進捗状況はどうか】

【問】昨年の予算特別委員会で「六町と北加平町を結ぶ人道橋を架ける」との答弁があった。その後、「区の財政負担を考え綾瀬川架橋を進めたい。そのため、関係地権者の意向を確認したい」との説明があったが、地権者の意向はどうなのか。

また、地元説明会の予定はどのようになるのか。



各会派の代表質問(抜粋)

区政を



本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます
ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

【土木】土地・建物を所有する全ての地権者、借家人に事業計画の説明を行い、協力いただけたとの回答を得ている。

また、区画整理審議会委員への説明を2月末に行い、その後、町会等へ説明する予定である。綾瀬川架橋の完成はいつか

【問】綾瀬川架橋について、東京都第二区画整理事務所をはじめ関係機関との協議、調整はどこまで進んでいるのか。

また、今後の作業スケジュールはどうなっているのか。

【土木】第二区画整理事務所や、国庫補助事業を所管する東京都街路計画課、第六建設事務所から基本的な了解を得ている。

4月以降に関係地権者との補償交渉に入り、協議が整った地権者から契約を行っていく。

同時期に実施設計委託の発注を行い、平成21年4月着手、平成23年3月完了の予定である。花畑川の雪見橋架け替えの進捗状況はどうか

【問】雪見橋は、老朽化が進み、設計委託を実施しているとのことだが、どのような橋を考えているのか。

また、地域住民の意向を反映できるのか。

【土木】現在、測量や交通量の調査及び橋梁形式の基本設計を行っている。橋の形式は、桜木橋を参考に、経済性や利便性を考慮し、地元説明会等で地域住民の意向を反映していく。雪見橋の交差点の交通処理をどうするの

【問】雪見橋の交差点の交通処理をどのように考えているのか。また、今後のスケジュールは



どうなっているのか。

【土木】既設道路と橋梁との交差点部は、現状の信号処理を基本に、見通しの改善等について警視庁と協議を進めている。

今後の整備スケジュールは、来年度に詳細設計を行い、平成22年度の完成を目指していく。

【問】昨年来のいじめ問題をきっかけに、区が取り組んできた、いつでも相談できる教育相談体制について伺う。

また、開かれた学校づくり協議会の家庭教育部会活動の一環として、いじめ問題をテーマに取り組んではどうか。

【教育長】全ての児童・生徒へのアンケートの実施や、重点期間を設け土・日曜日も含めた10日間、電話相談の受付時間の延長等を行ったり、直木賞作家・朱川湊人さんによる子どもたちへのメッセージを「区のお知らせ」やポスター等に掲載した。

今後も、国や都及び学校との連携を図りながら、いじめの根絶に努めていく。

また、開かれた学校づくり協議会の家庭教育部会は、現在、活動内容の充実に真摯に取り組んでいただいております。今後もいじめ問題に積極的に取り組めるよう、情報提供等、地域との協働を推進していく。

足立区議会公明党

生活者の視点で 区民サービス向上を目指し 未来に責任もつ区政運営を!



公明党
ふちわき 啓子 議員

区長の2期8年間の所感を伺う

【問】鈴木区長は前区政によって危機的状態にあった赤字体質脱却に取り組み、実質単年度収支の赤字を5年ぶりに解消した。平成16年には基本構想・基本計画を策定し、区民との協働や区政の透明化を推進した。退任にあたり、印象深いことを伺う。

【区長】区長になった最大の目的は、疲弊した財政の建て直しだった。実質単年度収支を5年ぶりに黒字にし、区債残高を大幅に減らし、基金を積み増したことが一番の成果と思っている。

【問】窓口業務のサービス向上を

【問】区の窓口業務は、第4日曜日の開庁、千住区民事務所では午後7時まで業務を行っているが、周知度・利用状況、今後の拡大・拡充について伺う。

また、証明書自動交付機の導入等利便性の向上に取り組むべきと思うが、区の見解を伺う。

【区民】窓口業務時間は、広報、ホームページ等で案内している。休日来庁者は月平均165名、取扱件数は約340件である。千住区民事務所の業務時間については、一層の周知に努めていく。

【産業経済】「若年者就労支援委員会」を組織し、地域への周知のほか、回覧板で広報した。今後は、チラシ、パンフレット、



ポスターの増刷など、若者向けの広報による支援を強めていく。介護予防事業キャンペーンと

【問】介護予防事業を高年齢者にPRするためキャンペーンを組み、参加しやすい環境づくりや、分かりやすく周知することが必要と思うがどうか。

また、特別養護老人ホームの入所希望者が約2千700人いるが、個室の新型特養は費用負担が重く入所を控える方がいると聞く。何らかの対策が必要と思うが、区の見解を伺う。

【福祉】介護予防のキャンペーンや参加しやすい環境づくりを検討するとともに、分かりやすい周知方法を工夫していく。

特別養護老人ホームへの入所は、「足立区特別養護老人ホーム入所検討会」で課題を検討している。今後も必要性の高い人が入所できるようにしていく。

【問】「高齢者虐待防止法」は虐待により高齢者に重大な危険が生じている場合、立ち入り調査を認めるほか、区への通報を義務付けているが、現状を伺う。

また、高齢者虐待に対する相談窓口は地域包括支援センターとなったが、バックアップ体制など、区の対応を伺う。

【福祉】昨年8月の調査では、通報45件、虐待認定数は34件、立ち入り調査は0件である。

地域包括支援センターには、人的支援の予算化とともに、保健総合センターや消費者センターと連携を図り、総合的なバックアップ体制を構築している。

子育て施策の充実を

【問】認証保育所等利用者助成制度により、一人月額1万円が予算化されたことは評価する。認証保育所等と認可保育園の保育料格差について、待機児解消の面から考えを伺う。

また、子ども医療費は19年度から中学3年生までの入院費が無料化される。完全無料化を実施すべきだが、区の見解を伺う。



【子育て】認証保育所等の利用促進は待機児解消につながる。一部は正のため「認証保育所等利用者助成制度」を創設した。中学3年生までの完全無料化については、医療費の推移と財政状況を見ながら検討していく。

相談や、区内3ヶ所の実施医療機関を紹介している。独自助成については、都の制度が拡充されており、推移を見守っていく。集積所のカラス対策を問う

【問】集積所のカラス対策として、軽量で折り畳みが簡単な「折り畳み式ごみネットボックス」が普及している。地域を決め、モデル的に実施してどうか。

【環境】「折り畳み式ごみネットボックス」「巻取り収納できるネット」等の効果を検証しながら、導入を検討していく。

発達障害児への支援の充実を

【問】乳幼児期から社会進出期までの年代別に個別支援会議を開催し、継続的支援に取り組むべきと思うが、区の見解を伺う。

【教育事業】今年度「就学支援シート」を作成し、乳幼児期から学齢期へ円滑に移行する仕組みづくりに取り組んだ。来年度は小・中学校で「個別支援会議」を開催、「個別の教育支援計画」を作成、支援していく。高等学校、社会進出期では、関係者等による「足立区特別支援教育連絡会」と連携し整備していく。子どもの居場所づくりを問う

【問】「放課後の子どもの居場所づくり」の平成19年度実施のモデル校6校の取り組みが重要であるが、平成20年度以降の実施計画を伺う。

また、人材の確保及び資質の向上・安全管理・プログラムの充実・学童クラブとの一体的あるいは連携した運営の仕組みづくり等にどう取り組むのか伺う。



【教育長】本事業は地域の方々のサポートにより、安全な居場所づくりをすすめる、極めて有意義なものである。モデル事業の状況を踏まえ、学童保育との連携等、従来の事業との調整を図りながら、平成20年度以降の実施計画を早急に定めていく。

また、地域の協力が不可欠である。安全管理やプログラムも含めた研修会等を行い、人材確保に努めていく。

1年間で200億円もの基金積み増しは、明らかに異常

【問】区長は、本会議のあいさつで23区平均ではまだ少ないとしているが、今年度末の基金残高は647億円、23区トップクラスである。区民は増税や介護保険料・国民健康保険料の値上げ等の負担増に襲われ、苦しみの声をあげている。1年間で200億円以上の積み増しは明らかに異常であり、区民を犠牲にした「貯め込み」だったのでないか。

【区長】「未来の区政に責任を持つ」ためには、長期的な展望を持ち、将来の行政需要に備えることが必要である。この基金は、竹ノ塚駅付近連続立体交差事業や学校改築等、区民の安全や生活に不可欠なものである。引き続きかかるべき備えとして積み増しを行っていく。

区民の痛みをやわらげる手当を支給すべき!

【問】今年も多くの区民が増税となる。昨年65歳以上の高齢者1万3千人が、収入が増えなくとも非課税から課税となったが、今年も税負担がさらに増える。例えば、年一人1万2千円の手当を支給して、負担増の痛みをやわらげることを行っているかどうか。

【福祉】平成18年度から実施された高齢者の非課税措置の廃止等は、持続可能な制度の構築のために、広く薄く負担を求めざるを得ない。平成19年度の定率減税の廃止は、暫定的に導入された軽減措置を廃止し、従前の税負担に戻すものである。したがって、痛みをやわらげる新たな手当の支給は考えていない。

中学校3年生まで通院費も無料に!



【問】出産・育児・子育ての経済的負担が増している中で、各自治体は小学生・中学生までの医療費助成の拡大をすすめている。当区においても、中学校3年生まで通院費も無料にする子ども医療費助成を、都の義務教育就学児医療費助成事業の10月実施に合わせて行うべきと思うがどうか。

【子育て】中学校3年生まで通院医療費も無料化するためには、大きな財政負担が必要となることから、医療費の推移と財政状況をしながらの検討課題とする。区内業者育成のための支援策を強化すべき!

【問】区は、区内業者優先をかけたが、「官から民へ」の「構造改革」の流れの中で、区内業者が参加する契約案件そのものが少なくなり、大企業に仕事が流れていく状況が広がっている。こうした点を改め、産業経済施策を洗い直し、強化すべきだがどうか。

【総務】区内経済の振興と区内業者育成の観点から、区が発注する契約案件は、区内業者が対応可能なものは区内業者が優先的に競争参加できるようにするとともに、受注機会拡大のため、分離発注に努めている。今後この方針は堅持していく。

みんなの住区センターではなくなったという声をどう考えるか

【問】昨年、住区センターの使用料を一部有料化し、団体間に不公平が生じた。加えて、申請や使用料の振り込み等の手続きが煩雑になった。もう、みんなの住区センターではなくなくなったという声があがっている。こうした実態を区はどう考えるか。

【区民】受益者負担及び公平性の原則により、平成18年度から団体利用を有料としたが、一部団体の免除規定を設けている。使用料の徴収方法は、住区センター設置の性格上、金銭出納員の配置ができないため、現行方式をとっている。

【問】障害者自立支援法の最大の欠陥である応益負担の撤回を国に申し入れるべきだがどうか。また、「三障害の制度の一元化」を基本的理念のひとつにあげているが、現在策定中の足立区障害者計画に理念を執行する計画を盛り込むべきである。特に、遅れている精神障害者の所得保障も早急に計画化すべきだがどうか。

【福祉】皆で負担し支えあうという法の趣旨から、撤回を国に申し入れる考えはない。また、「あだちノーマライゼー



ション推進プラン06/11(中間報告)」の第3部「足立区第1期障害福祉計画」の中で、三障害一元化への対応と庁内推進体制について検討すると、計画に位置づけている。

特に、精神障害者の所得保障は、「心身障害者福祉手当」が支給されるよう今後も都に要望していく。

【問】教育長は、学力テストで予算に差をつける方針について、「はっきり言ってダメなところは校長の熱意もいまいちだし、教員の態勢だってちゃんとできていない。」と経済誌で述べている。あの学校はダメと決めつけて予算に差をつけることは、教育者として行うべきことではないと思うがどうか。

【教育長】各学校は、「特色ある学校づくり予算」を活用し、授業の改善や教員の指導力の向上、特色ある教育活動等、学校改革に取り組んでいる。こうした取り組みについて、区内109校

【危機管理】以前から警視庁へ要望しているが、今後とも機会を捉えて要望を続けていく。



全校ががんばっているのは事実だが、がんばりの度合いや成果に差が生じているのも事実である。校長・教職員の意識改革を図りながらチャレンジし、がんばっている学校を評価し、各学校の自己改革と全学校の教育力の底上げを図ることが教育者としての責務であると考えている。

【問】つくばエクスプレスの青井駅と六町駅に交番を設置してほしいという強い要望がある。安全・安心のまちづくりの観点から、交番設置をすすめるべきだがどうか。

【問】つくばエクスプレスの青井駅と六町駅に交番を設置してほしいという強い要望がある。安全・安心のまちづくりの観点から、交番設置をすすめるべきだがどうか。

【問】第4日曜日の休日開庁を拡大すべきと考えるがどうか。

ないのはお金ではなく 区民を支えようとする心です

日本共産党 鈴木 けんいち 議員

日本共産党足立区議団

日暮里・舎人ライナー開業に備えよ! 子育て支援の一層の充実を!

民主党 米山 やすし 議員

休日開庁を拡大すべきである 拡大すべきと考えるがどうか。

【問】第4日曜日の休日開庁を 拡大すべきと考えるがどうか。

【区民】平成18年1月から19年

◆特別区人事及び厚生事務組合の規約変更について

◆特別区競馬組合の規約変更について

◆東京二十三区清掃一部事務組合の規約変更について

以上3議案は、地方自治法の改正に伴い、規約の一部を変更するもの

◆東京都計画道路区画街路足立区画街路第11号線の施行に関する協定

道路整備工事を独立行政法人都市再生機構に施行させるもの

◆足立区地域学習センターの指定管理者の指定について

◆足立区立図書館の指定管理者の指定について

◆足立区地域体育館の指定管理者の指定について

以上3議案は、指定管理者を指定するもの

◆人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員として、宮岡孝之氏を法務大臣に推薦するため、区長から意見を求められました。議会は、これに対し、異議ないものと答申しました。

◆専決処分した事件の報告及び承認について

足立区長等の給料等の特例に関する条例

◆損害賠償の額の決定

鹿浜地域学習センターの体育館倉庫において用具を片付けていたところ、バレーボールの支柱が支柱置きから脱落し、相手方に右足甲打撲の傷害を与えた損害賠償の額(19万7千900円)の決定 ほか1件の議決を得た契約の変更 財産の取得について金額を変更するもの

◆議決を得た契約の変更

財産の取得について金額を変更するもの

◆議決を得た契約の変更

財産の取得について金額を変更するもの

◆足立区介護保険条例の一部を改正する条例

高齢者全体の生活をかんがみて、介護保険料全体の緩和をはかるもの

◆足立区障害者自立支援に係る利用者負担額の助成に関する条例

◆地方自治法第180条第1項に基づく区長の専決処分事項の指定について

議会の権限に属する軽易な事項について、区長が専決処分できるよう特に指定するもの

◆足立区政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

収支報告に関する規定を整備するもの

◆足立区議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の改正に伴い、議案の提出等についての規定を整備するもの

◆足立区議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正に伴い、委員の選任等についての規定を整備するもの

◆足立区議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の改正に伴い、委員の選任等についての規定を整備するもの

◆意見の分かれた案件

件名	会派名及び結果				結果
	会派名	会派名	会派名	会派名	
	足立区議会自由民主党	足立区議会公明党	日本共産党足立区議団	足立区議会民主党	
平成18年度足立区一般会計補正予算(第3号)	○	○	×	○	原案可決
平成19年度足立区一般会計予算	○	○	×	○	原案可決
平成19年度足立区国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	原案可決
平成19年度足立区介護保険特別会計予算	○	○	×	○	原案可決
足立区個人情報保護条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区立地域集会所条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区立児童館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区老人集会所条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区区民ホール条例を廃止する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区立老人館条例を廃止する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区立保育所における特別保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区授産場条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区精神障害者地域生活支援センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	原案可決
足立区地域学習センターの指定管理者の指定について	○	○	×	○	原案可決
足立区立図書館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	原案可決
足立区地域体育館の指定管理者の指定について	○	○	×	○	原案可決
足立区介護保険条例の一部を改正する条例(議員提出議案)	△	△	○	△	継続
足立区障害者自立支援に係る利用者負担額の助成に関する条例(議員提出議案)	△	△	○	△	継続
足立区保育所の保育の実施に関する条例の一部を改正する条例(議員提出議案)	△	△	○	△	継続
足立区痛みやわらげ手当支給に関する条例(議員提出議案)	△	△	○	△	継続

◆足立区痛みやわらげ手当支給に関する条例

区民生活を支援するとともに福祉の向上を図る足立区痛みやわらげ手当を支給するもの(以上4議案について、日本共産党足立区議団より継続に反対の立場から討論あり)

障害福祉サービスの利用を促進し、障害者の地域での自立した生活を支援するもの

◆足立区保育所の保育の実施に関する条例等の一部を改正する条例

保育所に2人以上の児童が入所している場合、2人目以降の保育料を無料とし、現行の保育料を今後も維持するもの

みなさんからの 請願・陳情

- 生活習慣病の治療に代替医療を第一選択とする医療制度改革に関する陳情
- 使い捨てプラスチック容器の使用を減らす努力に関する陳情
- 学校教育の場で北朝鮮による日本人拉致事件を取り上げをを求める陳情
- 福祉水準の維持・向上を求める陳情
- 治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を求める陳情
- 足立区立小中学校の全教室にクーラー設置を求める陳情
- 足立区立第二中学校の体育館存続についての請願
- 足立区立第二中学校跡に若者が気軽に利用できる交流・スポーツ施設等を求める陳情
- 足立区在住の私立小中学校就学者への教育費助成実現に関する陳情
- 足立区立第二中学校の廃校にともなう校舎等の存続と金八記念館及び多目的施設の実現を求める陳情
- 「定住外国人の地方参政権」付与に反対する陳情
- 永住外国人住民の地方選挙権確立のための意見書採択を求める陳情
- 障害者保健・医療・福祉制度への定率負担導入について意見書提出に関する陳情
- 東京都難病医療費等助成制度における「慢性肝炎」の難病指定復活を求める陳情
- 青少年センター改修工事後の料理室存続に関する陳情
- 手動式踏切の安全確保に係る技術基準を定めるよう国土交通省に求める意見書若しくは決議の採択を求める陳情
- 障害者自立支援法成立を受けて障害者施策に関する意見書提出と区に障害者施策の一層積極的な対応を求める陳情
- 竹ノ塚駅構内「伊勢崎線第38号踏切」における車両通行規制の実施を求める陳情
- 医療制度改革について患者負担増の計画の中止を求める陳情
- 子どもを育てている障害者の住民税課税世帯に「障害者自立支援法」で生じるホームヘルプ利用者負担の軽減を求める陳情
- CRPS(慢性複合性局所疼痛症候群)等4疾病を特定疾患(難病指定)とすることなどを国に求める陳情
- 都市再生機構の賃貸住宅における家賃の見直し及び住環境の改善を求める陳情
- 「廃プラスチックの焼却による熱回収について」の陳情
- 高齢者の年金・医療・税金の改善を求める請願(2委員会に分割付託)
- ガイドヘルプ・日常生活用具給付事業の現行サービス量の確保と自己負担増抑制を求める陳情
- 「障害者自立支援法」における精神障害者の負担の軽減等を求める陳情
- 東武伊勢崎線竹ノ塚駅構内の踏切の遮断時間短縮を求める陳情
- 区立公園の利用規定や開園時間の設定についての陳情
- 独立行政法人都市再生機構(旧都市基盤整備公団)の賃貸住宅における家賃の見直しを求める陳情
- 「廃プラスチックの焼却処理と熱回収」に関する陳情
- 医療機関によるカルテ廃棄の阻止に向けた働きかけに関する陳情
- 「肝炎問題の早期全面解決とウイルス性肝炎患者の早期救済を求める意見書」の提出を求める陳情
- 療養病床の廃止・削減計画の中止と、介護保険事業等の充実等を求める陳情
- 患者さんの生命と健康を守るために、安心・安全の医療と看護の実現につながる看護師等の増員を求める陳情
- 義務教育の土台を守り、教育の機会均等を保障する義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担率を2分の1に復活すること等を求める陳情
- 足立区の小・中学校で、30人以下の少人数学級を実施することを求める請願
- 住区センターの使用料を無料にし、「施設の再配置計画」の中でなくすのではなく充実を求める陳情
- 足立区立の小・中学校で、30人以下の少人数学級を実現する請願
- 足立の学校図書館に学校図書館職員(司書)の配置を求める陳情

◆永年在職議員を表彰

足立区議会は、第1回定例会第1日(2月20日)の本会議において、足立区議会議員として在職40年におよび区政伸展に貢献された功労に対し、鈴木進議員を表彰しました。

本紙に掲載いたしました、代表質問や、議案の内容等は概要です。現在、本会議録を作成中です。ので、詳細については、5月中旬以降、区議会事務局・区政情報室・区立図書館でごらんください。また、ホームページにも掲載いたします。



鈴木進 議員

◆特別区道路線の認定

所在地	延長(m)	幅員(m)
東京都計画事業上沼田南土地画整理事業施行区域内	① 148.77	① 4.00
	② 35.27	② 4.20
	③ 174.43	③ 4.50
	④ 485.81	④ 5.00
	⑤ 1,208.36	⑤ 6.00
	⑥ 291.97	⑥ 7.00
	⑦ 535.30	⑦ 9.00
神明南一丁目地内	53.57	4.00
関原三丁目地内	411.56	16.00
平野二丁目地内	45.84	5.00
本木二丁目・興野一丁目地内	42.35	4.01~4.08

◆特別区道路線の廃止

所在地	延長(m)	幅員(m)
東京都計画事業上沼田南土地画整理事業施行区域内	① 505.30	① 2.73
	② 1,233.90	② 3.64~4.00
	③ 7.20	③ 4.00
	④ 64.48	④ 4.00~4.50
	⑤ 56.30	⑤ 6.00
	⑥ 22.00	⑥ 7.24~7.64

◆区管理通路路線の設置

所在地	延長(m)	幅員(m)
足立二丁目地内	51.72	3.66~3.83
西新井本町二丁目地内	70.47	3.63~3.65

☆上記の各路線の略図は、区議会ホームページでご覧いただけます。

足立区議会公明党

一般会計	賛成	修正案	反対
国民健康保険特別会計	賛成		-
介護保険特別会計	賛成		反対
老人保健医療特別会計	賛成		-

平成19年度予算は、鈴木区長が取り組まれた最後の予算編成であり、「子どもの未来とまちの活力を育む予算」とされ、協働で築く足立区の実現のため、基本計画を推進させる予算である。区歳入の4割以上を都区財政調整制度に依存する当区にとって、総人件費の抑制、事務事業の改善・改革に努め、優先順位に基づいた行政資源のより効果的な配分の徹底は重要である。



うすい 浩一 委員

鈴木区長は、2期8年間リーダーシップを発揮し、区財政の健全化を達成すると共に、今後、支出が見込まれる竹ノ塚駅付近鉄道立体化の促進、学校改築及び公共施設の更新、さらに、借入金返済等、将来への備えとして基金残高の回復にも取り組んできたことは、未来の区政に

責任を持つ区政運営においては当然のことと考える。本予算において、子ども医療費助成の拡大等による子育て家庭の経済的負担の軽減、小児初期救急診療施設整備の促進、高齢者等への身の回り応援隊、日暮里・舎人ライナーの開業の促進、竹ノ塚駅付近鉄道立体化の早期実現、新田公園の新設、耐震促進強化期間と定めての助成制度の拡大、災害時要援護者への支援体制、ペットボトル自動回収機等の拡大、町会自治会の活動助成・会館整備助成金の拡大、ステップアップ講師の増

員、小学校普通教室へのエアコン設置、創業支援施策のさらなる充実、フリーター等の若年者就労支援、土日・夜間も対応するコールセンターの開業等は、我が党が要望してきた重要施策である。今後も構造改革の推進、区政の透明化、財政体質の強化等に取り組む、人口減少社会・少子高齢社会を乗り越える基盤づくりを進めていく必要がある。そのためには、無駄を廃して区民との協働で積極的に財政改革を推し進めて頂きたい。最後に、我が党の委員から指摘された事項や提案、要望は、新年度予算の執行や区政運営に反映されるよう要望する。

足立区議会自由民主党

一般会計	賛成	修正案	反対
国民健康保険特別会計	賛成		-
介護保険特別会計	賛成		反対
老人保健医療特別会計	賛成		-

一般会計の総額が、この4年間で最大となったが、三位一体改革や税制改正等による一般財源の増が、主要な要因である。特別区税などの自主財源比率も低く、都区財調に4割を依存する構図は変わっていない。一方、平成17年度普通会計決算では、民生費が1千億円を突破し歳出全体の47%を占め、財政運営は厳しさが続く。



馬場 信男 委員

「子どもの未来とまちの活力を育む予算」である平成19年度予算は、2期8年務めた鈴木区長が次の区政にバトンタッチする、責任ある予算でもある。「竹ノ塚駅付近鉄道高架化」は、区の未来に道筋をつけた鈴木区長の功績であり、区民との協働で築く足立区の実現であった。東京藝術大学千住キャンパス

の開学により、文化芸術活動推進や人間力、文化力を育み、未来の足立区を担う子どもたちに向けた計画に期待する。同様に、少子化時代に鑑み、認証保育所利用者への月額1万円の助成、私立幼稚園の入園料補助増額等は、「子育てにやさしい足立区」の充実に寄与する施策として、大いに望まれる。日暮里・舎人ライナー関連事業等は、格差社会の負のイメージを払拭する、注目の高い施策である。コミュニティバス「はるかぜ」についても、一層の充実を望む強く要望する。

議論が多く出た。国民健康保険特別会計は、前期高齢者数の増により保険給付費が91億円も増え、12.0%の増である。介護保険特別会計は、要介護認定者の増加が見込まれ、34億円、11.3%の増である。中小零細企業の多い当区では、景気の回復を実感できるレベルには至っていない。安心して暮らせる安全都市に向けて、平成19年度予算が寄与することが期待されるが、経常的事業費の抑制に努め、効率的に執行されることが大切である。最後に、我が党の委員から指摘された事項や要望は、本予算の執行や区政運営に確実に反映されるよう、強く要望する。

特別会の 予算委員論(要旨)

本特別委員会では、財政再建した鈴木区長とほめ称えるが、財政を危機的状況にしたのは、60周年記念等で大型施設をつくった92年から4年間で、91億円の起債(借金)をしたことにある。吉田区長は大型開発を抑え新たな起債は100億円程度にし、返済(公債費)を上回らないという財政再建のルールを引いた。一般会計は「子どもの未来とまちの活力を育む予算」としてが、区民を支えず財政力はあるのに自治体の責務を捨てている。第一、子育てでは、子育て支援バスポート事業を、大型店進出野放しで苦しむ商店に5%割引を押しつけ、認証保育所



渡辺 修次 委員

現在の我が国では、一部の大企業が過去最高利益を上げ、景気回復を宣言しているが、実態は限定的・短期的で、ほとんどの国民は、景気回復を実感していない。国と地方の借金残高も破綻しそうな数字である。一方、「2007年度問題」をはじめ、人口減少や超高齢化社会への対応、施設更新の本格化等、第二、第三の夕張市が出てもおかしくない状況にある。

（室）の利用者支援事業は、認可保育園の保育料値上げで賄うという冷たさである。子ども医療費助成は、入院に限定し、通院は23区最低レベルである。第二、まちの活力を育む問題は、地域活力の担い手である業者支援が少ない。配達サービスは、自ら国政野党時代に、また、自らは国政野党時代に、予算に反対しながら実績宣伝したことを棚に上げ「予算に反対しているのに実績を語るな」という発言は、天に唾するものだ。第6号議案は、国保料均等割の1千800円値上げで所得の低い世帯の負担が重い。国庫補助を49.8%に戻すのが急務である。第7号議案は、重い負担である介護保険料を、修正案どおり値上げ前に戻すことを求める。

現在我が国では、一部の大企業が過去最高利益を上げ、景気回復を宣言しているが、実態は限定的・短期的で、ほとんどの国民は、景気回復を実感していない。国と地方の借金残高も破綻しそうな数字である。一方、「2007年度問題」をはじめ、人口減少や超高齢化社会への対応、施設更新の本格化等、第二、第三の夕張市が出てもおかしくない状況にある。



鈴木 あきら 委員

このような中で編成された平成19年度予算だが、鈴木区長が財政再建に全力で取り組んだ2期8年の集大成とも言えるもので、全体としては評価する。念願のつくばエクスプレス、日暮里・舎人ライナー、北千住

再開発、大学誘致等一区切りできた。この財産を区民サービス向上のために運営するものと確信する。鉄道立体化の取り組み、住宅の耐震化促進、子ども医療費助成制度の拡大、あだちエコネット事業等評価する。しかし、区民にとってはそれで満足できるものではない。30年以上にわたる都立中川公園への区の消極的姿勢、約10年の各排水場跡地利用計画未実施等も見受けられる。新線や再開発等が目立つが、今後は、放置している問題を解決してほしい。さらに、区のイメージアップ調査の徹底」等を強く要望する。

足立区議会民主党

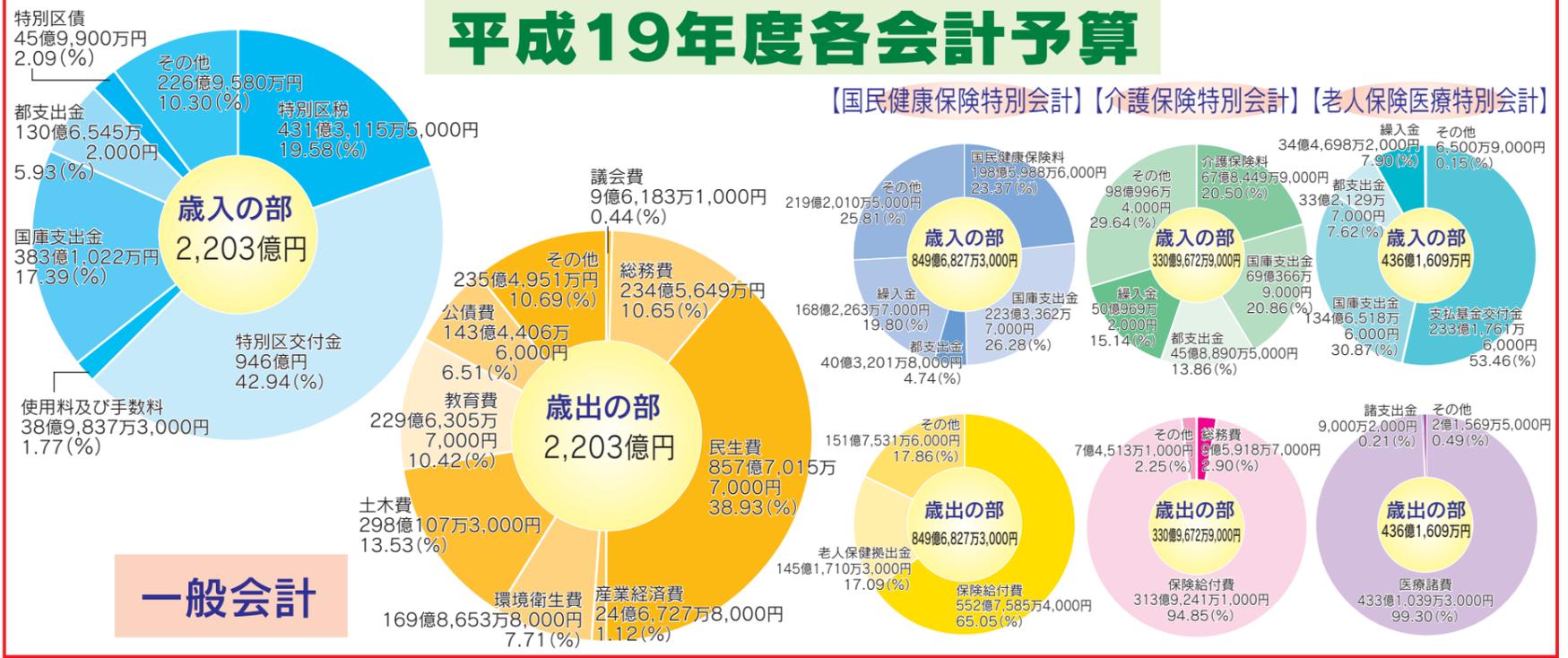
一般会計	賛成	修正案	反対
国民健康保険特別会計	賛成		-
介護保険特別会計	賛成		反対
老人保健医療特別会計	賛成		-

日本共産党足立区議団

一般会計	反対	修正案	賛成
国民健康保険特別会計	反対		-
介護保険特別会計	反対		賛成
老人保健医療特別会計	賛成		-

平成19年度各会計予算

【国民健康保険特別会計】【介護保険特別会計】【老人保険医療特別会計】



平成19年度各会計予算を審査
予算特別委員会を設置

平成19年度各会計予算を審査するため、2月20日の本会議で、予算特別委員会を設置しました。

3月1日に委員会を開会し、鴨下稔委員長、小泉ひろし副委員長、渡辺修次副委員長を選任し、3月9日まで計6日間審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

協働で築く力強い足立区の実現に向けて、基本計画を着実に前進させるため、平成19年度予算を「子どもの未来とまちの活力を育む予算」としています。

本特別委員会では、鈴木区政2期8年の取り組みと成果、都区財政調整交付金、積立基金、少子化への対応のほか、各主要事業についても多くの委員が質疑を行いました。

また、一般会計予算及び介護保険特別会計予算に対し、ぬかが和子委員外4名から、それぞれ修正案が提出されました。

3月9日、全ての質疑を終え、各党派の討論の後、原案及び修正案を採決しました。

その結果、原案の4議案は可決すべきもの決し、修正案は否決しました。

(討論の要旨は7頁に記載)

本会議での議決結果

3月15日の本会議において、鴨下稔委員長は、委員会の審査経過及び結果を報告しました。

その後、各会計予算案の採決を行い、いずれも原案のとおり可決し、平成19年度予算が成立しました。

予算特別委員会委員 (25名)

鴨下稔	委員	委員長
小泉ひろし	委員	副委員長
渡辺修次	委員	副委員長
市川登	委員	
馬場信之	委員	
高橋延治	委員	
加藤明	委員	
せま剛	委員	
藤田次	委員	
白根英治	委員	
長谷部正	委員	
鈴木浩一	委員	
うたがみ	委員	
たかみ	委員	
ふちわき	委員	
前野啓	委員	
三好和	委員	
藤崎雄	委員	
鈴木お	委員	
大和み	委員	
鈴江	委員	
秋山	委員	

特別委員会報告 (要旨)

公共財産等活用調査特別委員会

本特別委員会は「公共財産等の有効活用に関する調査研究について」を調査する目的で設置しました。

旧本庁舎跡地利用建設計画について

昨年4月には、旧本庁舎跡地に、「あだち産業芸術プラザ」がオープンしました。

南棟の「東京芸術センター」には、「天空劇場」等が設置され、

北棟の「あだち産業センター」には、区内中小企業経営者等を支援する施設が入りました。

この建物の竣工により、「旧本庁舎跡地利用建設計画」については、調査終了になりました。

公有財産の有効活用について

「公有財産の活用構想」で検討対象となった大規模施設跡地を中心に議論が行われました。

昨年9月には「東京芸術大学千住キャンパス」が開学し、旧第二中学校跡地利用では、平成19年4月に「東京未来大学」が開学予定となっています。

また、土地開発公社が購入した、日暮里・舎人ライナー関連用地から、カドミウム等が確認されたため、除去費用等について、区が原因者に損害賠償請求訴訟を提起しています。

現在、各種施設の統廃合等で活用可能になった土地・建物が多数存在しており、足立区公共施設再配置審議会から、今年度中に答申が出される予定です。

公共財産等の活用には、地域住民の声に耳を傾けながら、限られた財産をいかに有効に活用できるかという観点から取り組まれることを強く要望します。

区内鉄道路線の高架化について

竹ノ塚駅付近の踏切自動化や歩道橋設置等の緊急対策を講じていますが、鉄道高架化の早期実現が最も重要です。国で新規格工準備箇所とされましたので、国や都・鉄道事業者と費用負担等の協議を進めていきます。

コミュニティバスについて

新線の開業に合わせたバス路線の再編や、新たな路線を要望しました。

そのほかにも、環七高速鉄道、地下鉄8号線、地下鉄竹の塚・王子・池袋線(仮称)の新線誘致に取り組みんでいます。

快適で住みよいまちづくりのためには、交通網の整備や都市基盤の整備は欠かせません。実際には課題も多くありますが、地域の方々の理解と協力を得て、関係機関と連携し、今後も積極的に取り組む必要があります。

足立区議会情報公開制度の実施状況

平成18年度	請求件数及び処理状況						開示率(%)
	請求件数	取件件数	開示	一部開示	非開示	存在非開示	
平成18年度実績	5	0	1	4	0	0	100

*平成18年4月1日～平成19年3月31日

交通安全について

平成18年の交通事故は、前年より減少しましたが、自転車の事故が目立っています。自転車用標識の設置や、走行しやすい工夫について要望しました。

災害対策について

災害時に医療や入浴・理容等の協定を結んでいます。今後も、様々な協定を締結するよう要望しました。

また、防火対策について足立消防署と協議会を開催しました。その内容を踏まえ、放火対策や室内用火災警報器の早期普及等を区に要望しました。

オウム真理教(現アールフ)対策について

地域住民の方々や公安調査庁・警察等関係機関とさらに連携を図るよう要望しました。

安全・安心な社会の確立をめぐり、区民の安心感を確保することが区の使命です。

そのためには、幅広い視野に立った、総合的な対策が不可欠です。引き続き、様々な施策・事業を積極的に実践することを要望します。